

令和3年度 事業報告

I 事業の概要

1. 美術館開館事業

(1) 令和3年春季特別展 茶道具取合展「露地清晨」

期 間 令和3年3月6日～令和3年4月25日(当初の予定では6月6日まで)

新型コロナウイルスの蔓延で、4月25日から5月11日まで緊急事態宣言が出されたことを受け、4月27日から「当面の間」臨時休館を行うこととした。その後、緊急事態宣言は5月31日まで延長されることになり、6月6日まで予定していた春季展は終了することにした。

(令和3年度春季開館日数 22日間)

展示品 別紙展示目録の通り

尚、新型コロナウイルス蔓延により、美術館の休館に伴うスタッフの休業手当(助成金)を労働局より84,000円を受取った。

(2) 令和3年秋季特別展 茶道具取合展「秋懐」

期 間 令和3年9月11日～令和3年12月5日(開館日数71日)

新型コロナウイルス拡大防止の観点より「ご来場の皆様へ」(別添参照)の表示を行い、防止対策を行ったうえで実施した。

展示品 別紙展示目録の通り

(3) 令和4年春季特別展 茶道具取合展「蒼天」

期 間 令和4年3月5日～令和4年6月12日(開館日数86日)

(令和3年度開館日数23日)

新型コロナウイルス拡大防止の観点より「ご来場の皆様へ」(別添参照)の表示を行い、防止対策を行ったうえで実施中である。尚、来館者の連絡票は他の美術館を参考に、記入依頼は行わないことにした。

展示品 別紙展示目録の通り

(4) 入館者数、入館料収入

展示会名	開館日数	入館者数							入館料収入
		一般	学生	団体			身障者 他	合計	
				一般	同門会	学生			
¥600	¥400	¥500	¥450	¥300					
露地清晨	22	108	16	521	25	0	4	674	¥342,950
秋懐	71	628	61	813	97	0	38	1,637	¥851,350
蒼天	23	229	33	22	35	0	6	325	¥177,350
令和3年度	116	965	110	1,356	157	0	48	2,636	¥1,371,650
(参考)令和2年度	108	769	101	631	95	0	45	1,641	¥860,050
(参考)令和元年度	170	1,839	93	1,834	312	71	134	4,283	¥2,219,300
平成30年度	155	1,795	142	1,783	397	4	120	4,241	¥2,205,150

注 同門会は表千家同門会会員

2. 四君子苑開苑事業

①春季公開について

前年度の秋季公開については、新型コロナウイルスの蔓延下ではあるが、苑建物内でのガイドは行わずに、入場制限を35名とし、新型コロナウイルス対策(マスクの着用、検温、連絡先の記入依頼)を実施の上開苑したが、春季公開についても新型コロナウイルス拡大防止対策を行った上で開苑を行った。

入場制限35名を超え入場整理券を渡す状況があり、待ち時間が30分を要する時間帯があったものの、入場制限に対するクレーム等は皆無であった。

前年度の秋季公開に比し93%であったが、大阪・兵庫・京都に新型コロナウイルス蔓延防止条例が発令されている状況でもあり、ある程度満足できる来苑者数であった。

②秋季公開について

春季公開と同様、新型コロナウイルス拡大防止対策を行った上で開苑した。建物内部でのガイドは質問形式のみとし、団体客の予約も受け付けないこととした。

3日目からは100人を超える人数の来苑者があり、入場制限をマックス50名とする等、臨機応変に対応を行った。

又、6日間の一般公開とは別に10月20日と11月6日の2日間、団体客向けに特別公開を行った。

(1)入苑者数、入苑料収入

公開日				
月	日	相手先	人数	金額
4月	13日	一般公開	66	¥760,500
	14日		79	
	15日		87	
	16日		72	
	17日		77	
	18日		126	
小計			507	
10月	12日	一般公開	72	¥1,211,500
	13日		64	
	14日		108	
	15日		111	
	16日		108	
	17日		176	
	20日	京都国立博物館清風会 向け特別公開	81	
11月	6日	熊本松石様ご一行 向け特別公開	21	
小計			741	
合計			1,248	¥1,972,000

(2)入苑者数、入苑料収入比較

公開年度	開苑日数	入苑者数	入苑料収入
令和3年度	14	1,248	1,972,000
令和2年度	8	551	828,500
令和元年度	15	1,350	2,025,000
平成30年度	20	1,544	2,275,600

3. 四君子苑貸出事業

相手先	日	場所	内容
東京都立大学 建築学科 伊東喜彦	令和4年 3月16日	四君子苑 建物・庭園	教員2名 学生14名 10時から約2時間 見学

4. 館外展示事業(お茶会)

大徳寺孤蓬庵で実施予定であった松平家 不昧公命日献茶式と徳禅寺650年大遠忌は新型コロナウイルスの蔓延により、2年連続で中止となった。

5. 館外展示事業(貸出)

展示会名	貸出美術品	展示期間	展示場所
春の江戸絵画まつり 与謝蕪村	重要文化財 与謝蕪村筆 鳶鴉図	3月13日 ～ 5月9日	府中市美術館
特別展 「生誕200周年記念森川杜園」展	森川杜園作 鶴亀人形	9月23日 ～ 11月14日	奈良県立美術館
生誕130周年 特別記念展 「描く・飾る・デザインするー堂本 印象の流儀ー」	松桐鳳凰文様振袖 竹牡丹孔雀紋様振袖 梅鶴文様振袖	12月3日 ～ 令和4年 3月21日	堂本印象美術館

6. 撮影掲載料(掲載)収入について

依頼先	雑誌・書籍名等	掲載する館蔵品名
平凡社	田中大士著『春日懐紙の書誌学』 (ブックレット〈書物をひらく〉25) に掲載(令和3年3月15日 刊行)	春日懐紙 中臣祐定目録 奈良懐紙 良祐「暁郭公」
東京書籍 株式会社	文科省検定 高等学校国語科教科書に掲載 『精選古典研究 古文編』 令和5年2月発行予定	重要文化財 与謝蕪村 鳶鴉図(2枚)
(株)ネクサス 開運!なんでも鑑定団	番組に曾我蕭白の紹介VTRを作成する。その際、18世紀の京都画壇は気鋭の絵師達が活躍していたことを説明するため、本件を使用。	与謝蕪村筆 重要文化財 「鳶鴉図」
株式会社 淡交社	『なごみ』2021年連載「表装拝見」(執筆=濱村繭衣子 京都芸術大学講師)において、江戸絵画の表装について解説する論考のモノクロ参考図録として使用。	与謝蕪村 鳶・鴉図(モノクロ)
茶道文化社	茶道専門の報道を昭和24年より月刊「茶道文化」新聞として発行している。今回土浦市立博物館木塚久仁子執筆の土屋蔵帳の連載の中で掲載	瀬戸金華山茶入「広沢」
小学館 「和楽」	小学館「和楽」12. 1月号(2021年11月1日発売)に掲載	御本立鶴茶碗 銘 池水 野々村仁清 重要文化財 「色絵鱗文茶碗」
(株)ネクサス 開運!なんでも鑑定団	一般の方の家庭で「与謝蕪村」と伝わる掛軸を依頼品として取り上げる際、「与謝蕪村の生涯や作風」を紹介するVTRを作成するのに使用	与謝蕪村筆 重要文化財 「鳶鴉図」
(株)大有 月刊「遠州」	月刊茶道詩「遠州」2022年2月号「茶の世の道具」に掲載	尾形乾山作 槍梅香合

7. 撮影掲載料(撮影)収入について

依頼先	撮影目的		出版物 または、放送内容	撮影掲載する館蔵品名
淡交社 「淡交テキスト」	「絵の掛物」に焦点を当て、令和3年1月～12月まで、毎月、木下館長による、絵掛物との取合せ、及び絵掛物を茶席で用いる楽しみについての解説		令和3年 淡交テキスト 『絵の掛物』 2021年1月より12月まで、毎月 計12回 刊行	四君子苑内で絵掛物を中心に、茶席での道具の取合せを撮影
淡交社	『茶の湯の茶碗』 全5巻	令和4年2月・3月 発行	『茶の湯の茶碗』 第3巻「和物茶碗Ⅰ」 第4巻「和物茶碗Ⅱ」	(第3巻) 黄瀬戸茶碗 銘唐衣 (第4巻) 仁清作 色絵鱗波文茶碗 永樂保全作 色絵日出鶴文茶碗
京都建築専門学校 副校長 洞谷邦夫	株式会社エー・アンド・ユー建築と都市臨時増刊又は月刊で桐谷邦夫監修「自然を映した建築、茶室」に掲載のため	専属のカメラマンが茶室と母屋を撮影	株式会社エー・アンド・ユー建築と都市臨時増刊又は月刊の桐谷邦夫監修「自然を映した建築、茶室」	四君子苑(茶室と母屋)
婦人画報&美しいキモノグループ	現代美術作家の杉本博司氏による人気連載「折々の花」で、杉本氏が愛する美術品と四季の草花の取合せ、エッセイで構成される。		婦人画報令和4年の5月号及び秋～令和5年の冬時季に、杉本博司の「折々の花」に5回掲載。	四君子苑「看大」「珍散蓮」「腰掛待合」「立礼の間・かじの屋」の撮影。床の間に美術品と花を配してスチール撮影する。